





親父が
遅い



いい波だ…

って泳ぎに行つて
全然帰つて来ないん
だけどさあアアアア

時速20km
流れる

好トイイ
不機嫌



ほ
いいじゃ
ねエか

って
言っ
たの
になア...



おそろい!!
これかた
と



ばか親父

いいもんね
俺だっ
別に1人でも
楽しめるし

と、いう訳だ



ええ
何?! 何?! 何い?!?!
ツツ



悪かった



妬きモチ
焼きのお前に
待たせるなど

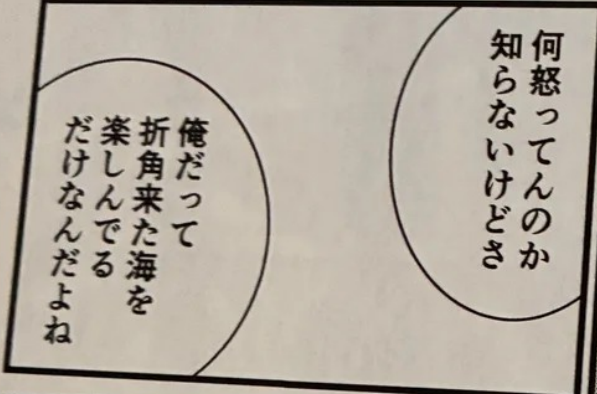
悪いこと
しちまった...

親父...?



別に俺
話とか
ないんだけど

今更
何の用？



何怒ってんのか
知らないけどさ

俺だって
折角来た海を
楽しんでる
だけなんだよね



邪魔
しないで
くれるかなア



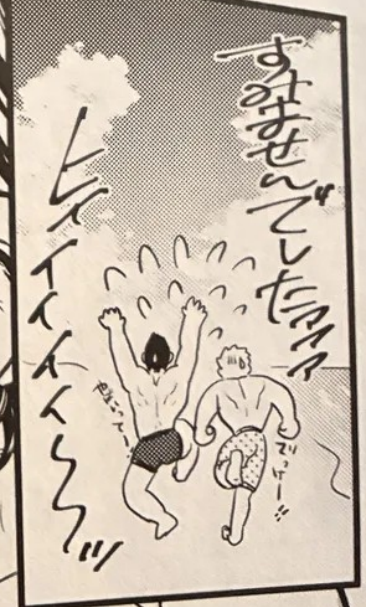
やけに
喧しいと
思っ
て
来
て
み
れ
ば

刃牙……
お前エ
何してやがる

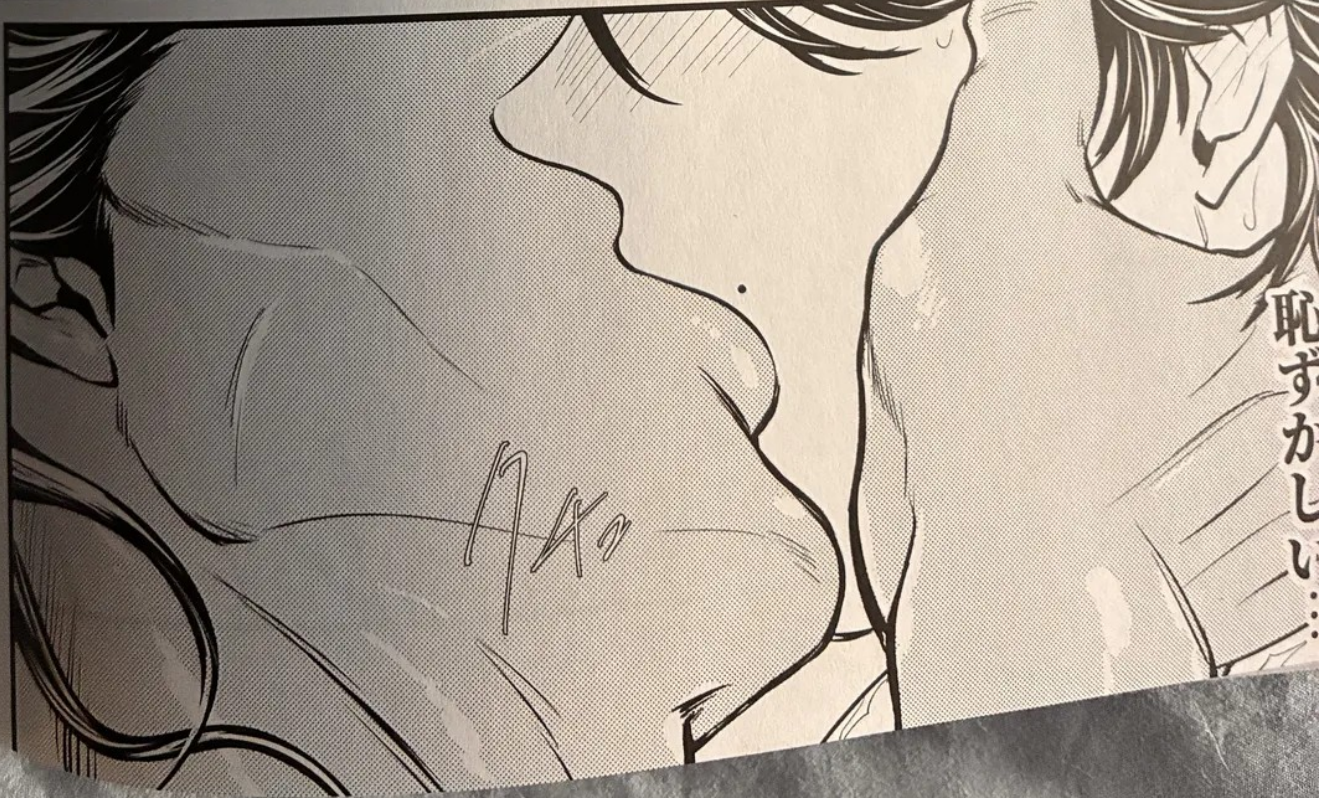
ハッ
ハッ

親父……

ついて来い







という訳だ

愛しい倅に
詫びを、な

え

詫びつて？
あの親父が
俺に?!?!?!

確かに俺は
怒ってるけど
こんなので
機嫌が直るとか…

あ…

刃牙…





地上最強の

ナスが
おぢい…

圧倒的雄ツツ

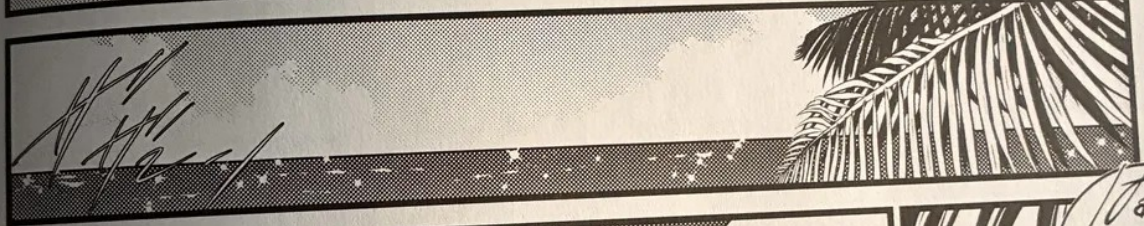
理解っちゃいたけれど
こんなところで
お目にかかるとは

その通りたな



ちエ...

なんか
誤魔化されてんの
かな.....俺



なるほど...
確かに
その通りだな



俺は親父が
居なくて
寂しかった
たんだよ?

俺にだって
親父を
好きにする
権利はあるよね



こんなことして
俺の機嫌が
直ると思った?

理解のちやいたけれど

こんな場所
だけでよ…

そうじゃねえ

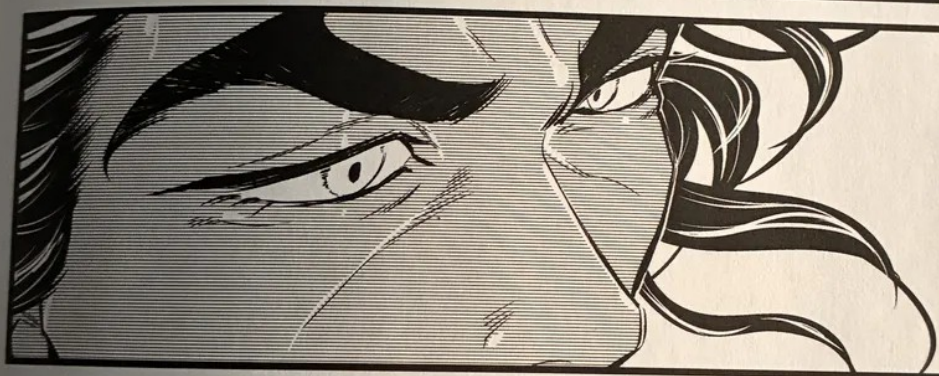
お前の顔を見ているだけでも
楽しいぜ？

でもな

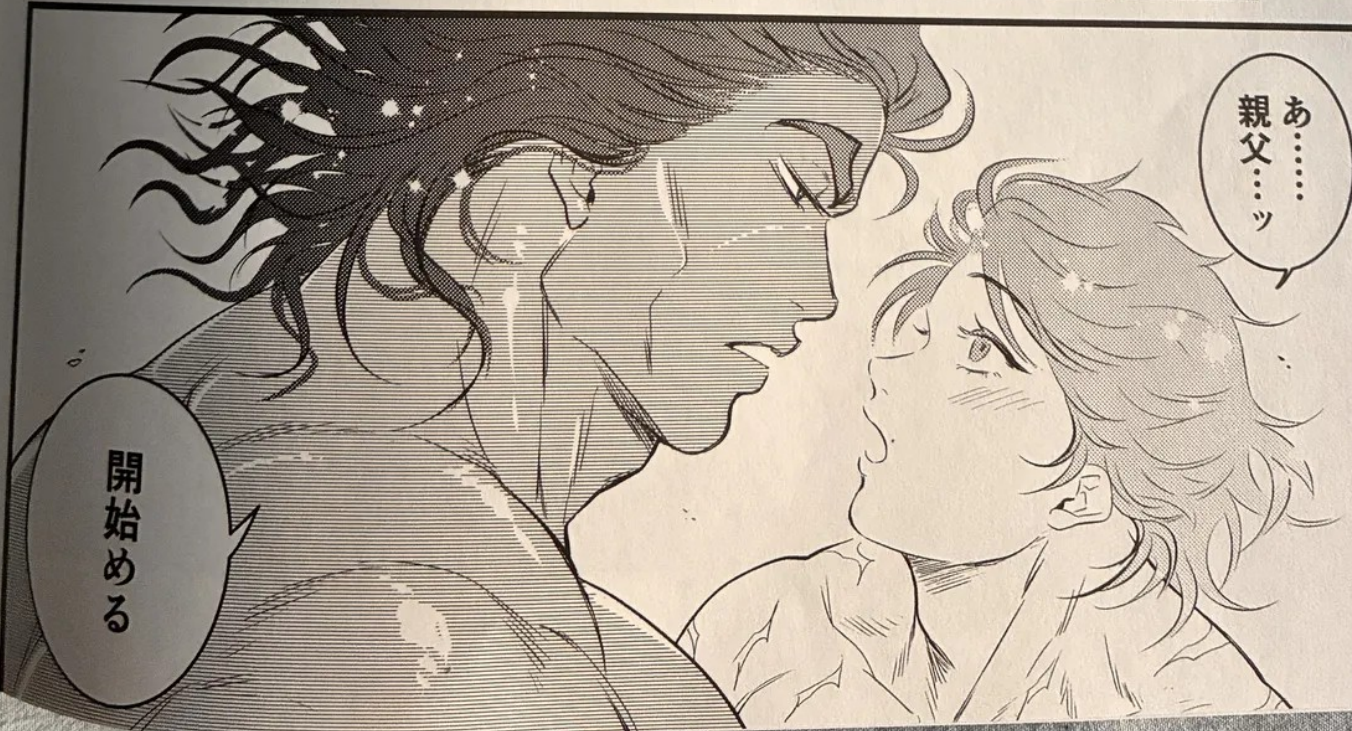
フフ…



ごめん…
気持ちよく
なかった？



そろそろ俺も
お前を感じたい



あ…
親父…
ッ

開始める



触られても
ないのに
俺……



刃牙……
もういい



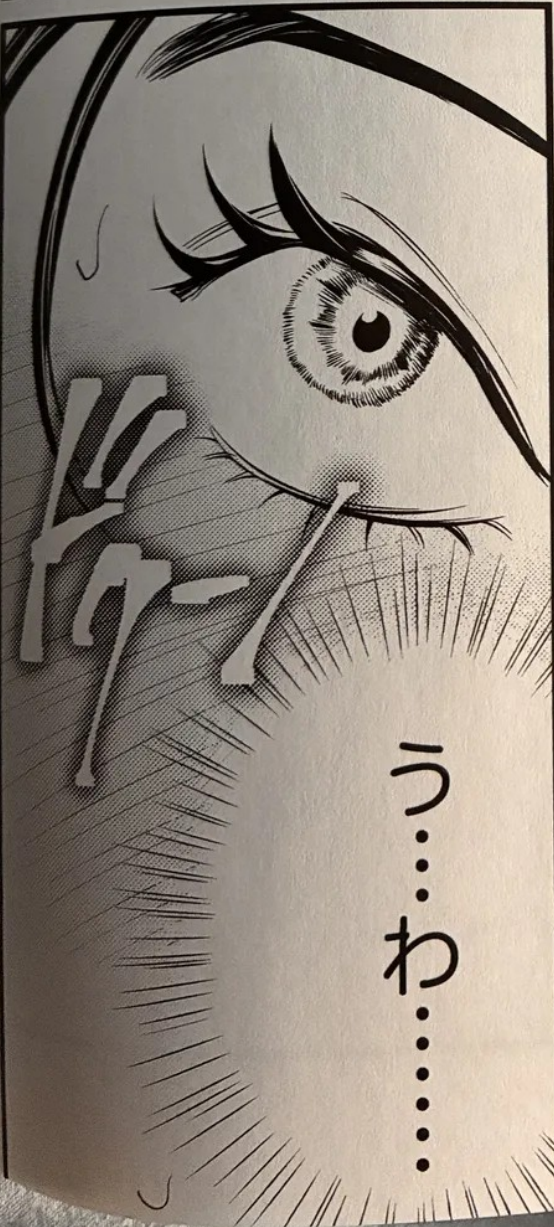
身体が
熱くて……



また……



はなっから
がつつく奴が
あるか



う……わ……



刃牙……



クッ

クッ

こんな場所
だけだよ...

場所なんて
今更...
でしょ

そんな...

俺達

フフ...

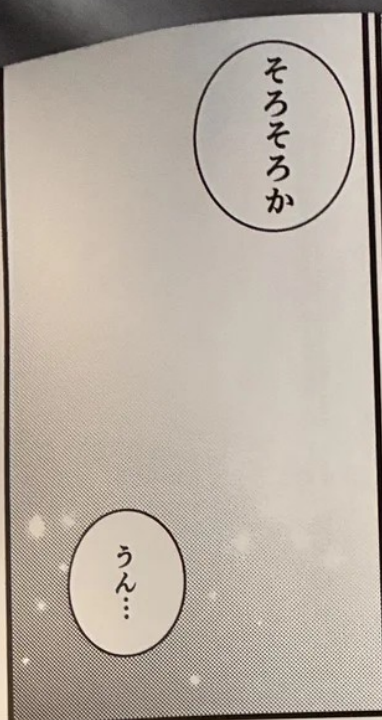
ごもごも

ヒ...

俺もさ...

もう我慢
できないや

ほほ...



そろそろか

うん…



おまえの
ちいせえケツに
入るように

しっかり
解さねえとな



はあ

あッ



うあッッ



うん...

おまえのちいせえケツに入るように

しっかり解さねエとな

はあ

あッ



うあッッ



挿入っ、たね…
血管…すこ…



刃牙

ほ

ほ



ン…

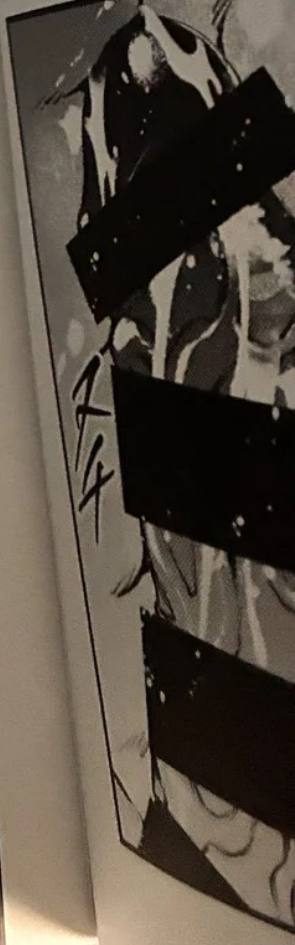


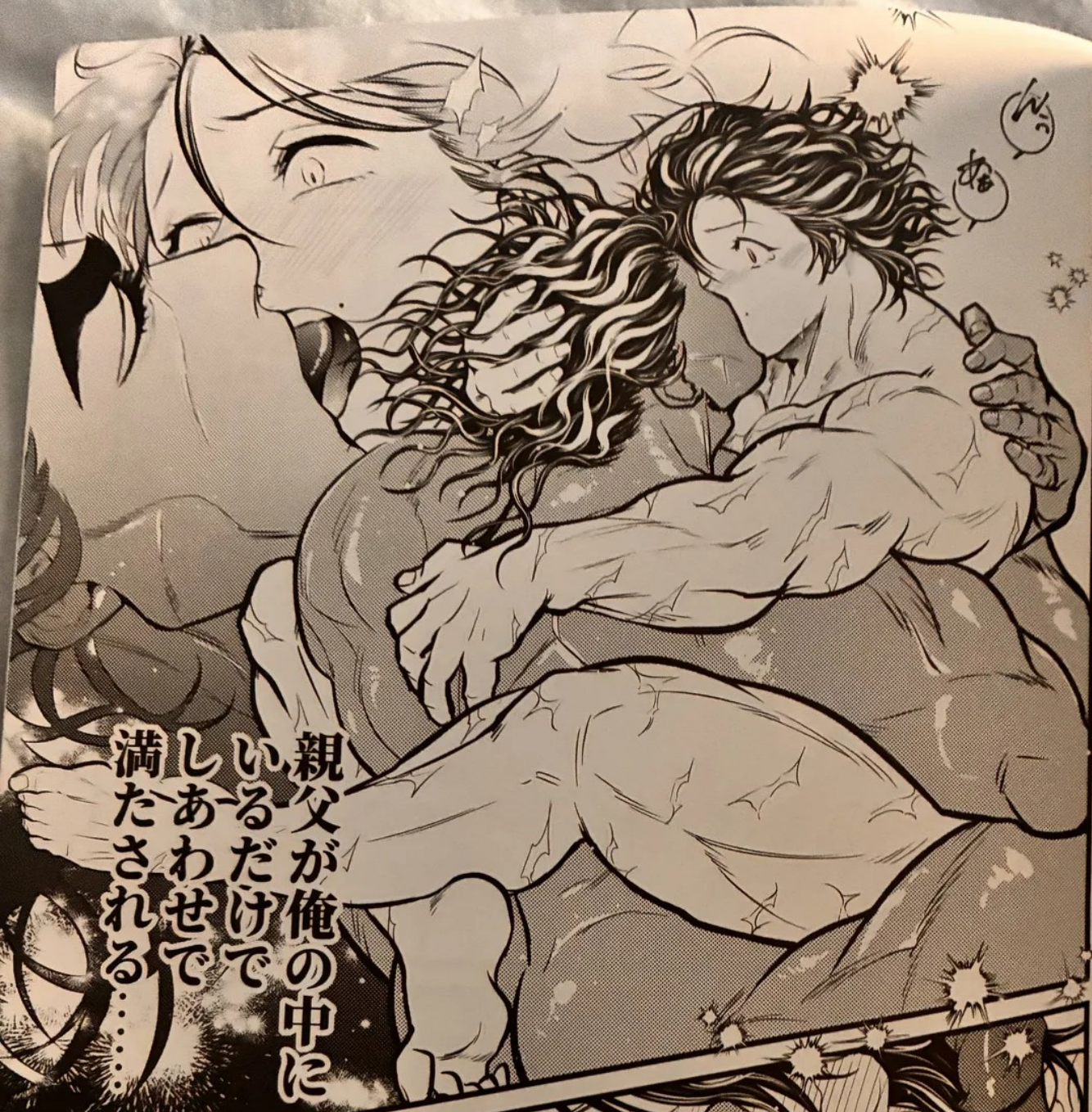
残り半分だ

ん

舌噛むなよ

うん…





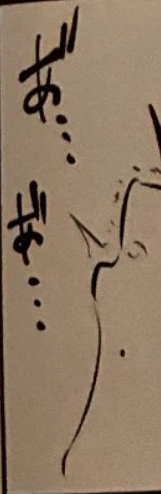
親父が俺の中に
いるだけで
しあわせで
満たされる……



嬉しいなア

キラッ

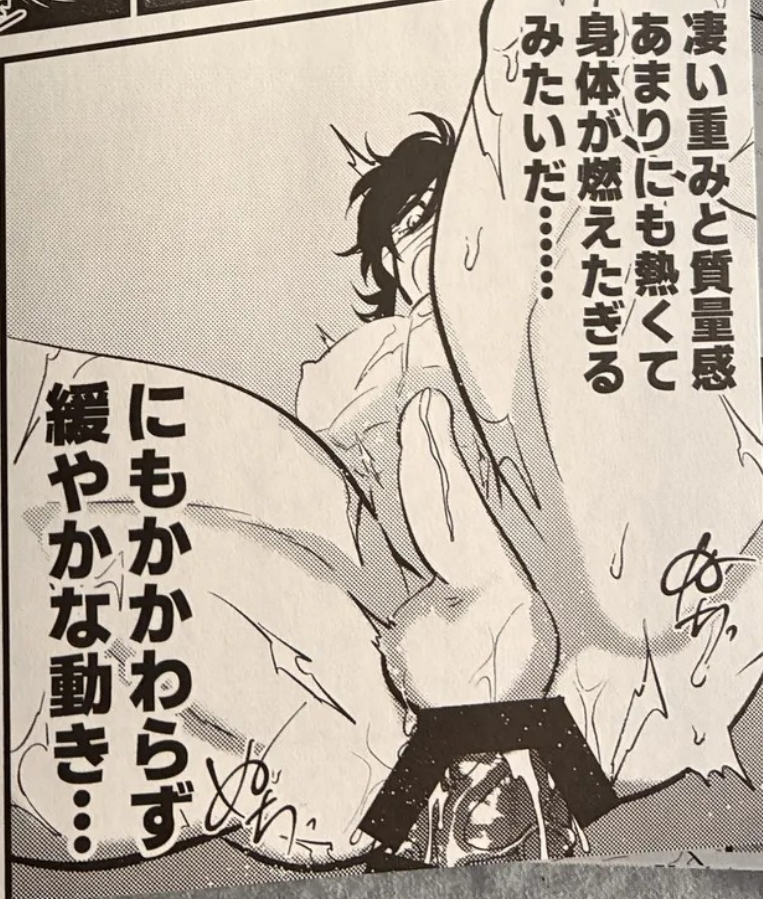
おや……



俺また

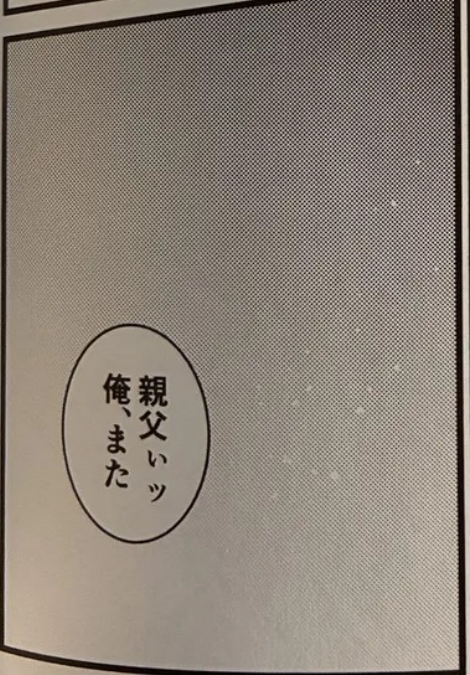


親父の全部今俺のナカに挿入って.....



凄いやみと質量感あまりにも熱くて身体が燃えたぎるみたいた.....

にもかかわらず緩やかな動き.....



親父いッ俺また



そうか？
奇遇だな
俺もだ…

何でだろ…
いつも以上に
親父がかっこ良く
見えちゃうよ…

そんなこと
言ったら
俺だって！
フフ…



親父♡

恋しちゃった
のかも
しれねエ…

太陽の下で
眩しく笑う倅に

真夏の空の下
親父と何度も格闘りあって
心も身体も満たされた